

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 12 月 21 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 1 2 0 0 4 7 1		
法人名	医療法人 紫雲会		
事業所名	グループホーム かわたな		
所在地	〒859 - 3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷 379 番地		
自己評価作成日	平成 23 年 11 月 10 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 1 月 17 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 12 月 8 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

町内の中心部に当ホームが位置しており、交通機関も便利が良く、周辺に病院やスーパー、金融機関等、生活環境が整っている地域である。家族様はもちろんの事、馴染みの方が足を運びやすく、同事業所内のデイサービスの利用者の方とも交流できるため、馴染みの関係が途切れることがないように支援している。又、職員はそれぞれ入居者様の思いに耳を傾け、役割や楽しみを持って生活できる環境や空間づくりに支援している。
理事長や代表者は、職員の離職がでないようにとの思いで、職員がいきいきと働きやすい職場環境を整えてもらっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当該ホームは地域で信頼の厚い医療法人を母体としている。職員の配置、待遇、勉強の機会等の配慮が行き届いており、職員がのびのびと明るくプロフェッショナルとして高い意識を持ちながら支援している。また、言葉かけや話の展開が優れており、家庭的な温かい雰囲気の中、利用者は職員との会話を楽しみ、食事の手伝いや思い思いのレクリエーションなど様々な場面で生き生きとした表情を見せられている。利用者のしたいことやできることに目を向けた支援をし、利用者同士の協力の場をつくり、人生の先輩である利用者に教えていただくという気持ちを持って、居心地よく笑いあって暮らせるホームづくりをしている。また、家族や馴染みの関係、地域とのかかわりも積極的に支援しており、職員一人ひとりが質の高い支援を志しており、課題を見つけては常に更なる支援の充実を図られている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本的な理念を踏まえた上で、親しみやすい言葉で表現した理念を各所に掲げ皆で共有し実践につなげている。	職員が作った介護理念「家庭的で笑いあふれる楽しいなじみの場」が、職員の意識と支援の隅々にまで浸透し、利用者家族との関係にまで広がっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に積極的に参加したり、保育園の慰問を受け入れや小学生との交流会を定期的に行っている。	町の行事に参加したり、地域の方にホームの見学に来ていただく機会を作るなど、地域の理解を得、利用者も地域の一員として暮らせるよう支援している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小学生の高齢者福祉を学ぶ一環として、認知症の理解につなされるよう紙芝居を作り、披露できる機会を相談している。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で頂いた意見やアドバイスはスタッフミーティングの中で検討し実践につなげている。	地域の教育関係者に参加いただく機会を得るなど、地域との交流を深め、視野を広げ支援に繋げる場としても有効に活用している。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや介護保険係に常日頃からケアプランについてのアドバイスを受けてたり勉強会を実施してもらっている。	町と地域包括支援センターから運営推進会議への参加がある。適宜情報や資料の提供があるほか、何でも相談できる良い関係が築かれている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修に参加したり委員会を設け日頃より身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>小さなことも「ヒヤリ・ハット」に上げて改善を重ねることで危険な状況を作らず、身体拘束をしないケアに繋げており、家族にもその説明をしている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティング時に虐待について検討したり、入居者の身体状況を観察し、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センターの方に尋ねたりして、学ぶ機会を設け、知識を深めるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は安心して入居して頂ける様、わかりやすく説明するように心がけている。又、介護報酬や料金等に変更があった場合も説明と同意をえている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族にアンケート調査を行ったり、意見箱を設置している。家族には面会時、入居者には日常意見や要望を伺うよう心がけている。それらの意見は運営推進会議で報告したり、ミーティング時にスタッフで検討し、要望がかなう様にしている。</p>	<p>夏祭り、忘年会、家族会と機会を作りご意見をいただいている。ホームで家族がフラダンスを披露されたり、面会時に管理者とゆっくりと話をしていられるなど良い関係が築かれ意見を伺いやすい環境ができています。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング時にスタッフの意見を聞く機会を設け、解決できない内容は、代表者や理事長に相談できている。</p>	<p>職員から利用者の支援についての意見が多く出され、支援に繋げている。歩行器や布団の使用、皮膚の保護のための工夫などが試みられた。</p>	<p>自己評価をユニットごとに完成させることで職員の研修の機会とし、また更なる課題の創出に繋げることを期待したい。</p>

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>資格取得の実績でスタッフの前で表彰を受けたり、急な勤務変更等にも柔軟に対応できるようにしている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の案内を全員に回覧し、受講するよう働きかけたり、経験年数や実力にあった研修に参加できている。ホーム内でも勉強会を行い、技術や知識の向上に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>町内のグループホーム連絡協議会を設け、意見交換や相談、勉強会を行っている。又、他のホームの情報をスタッフへ伝えサービスの向上につなげている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>それをストレートに聞くのではなく、会話の中から導き出す努力をしている。本人の思いを受け入れ、気持ちに寄り添う言葉かけを行い、信頼関係の構築に努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時、その後も継続的に、家族の苦労や不安を共有し、思いに共感することで、信頼関係づくりにつなげている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の心身状況、要望や意向を把握し、適切なサービスの提供に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の要望、不安等の思いを聴ける時間をつくり、又人生の先輩としての立場の関係も築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や行事を通して家族との絆を築き、共に本人をサポートできるようにしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>行事、外出、デイサービス利用者等の関わりを通して馴染みの関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	<p>ホームの立地が良く、気軽に馴染みの方に訪れていただいている。また、馴染みの美容院や買い物、他、親戚の家や法事等にも家族と協力の上、支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の相性を確認しながら、座席等に配慮し、関係が築けるようにスタッフが間に入り支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用が終了しても必要に応じて、相談や支援をこころよく受けている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いや意向はその時その都度、耳を傾け把握に努めている。困難な場合は、家族の協力を得て検討している。</p>	<p>話す機会を多く作り、傾聴を実践して利用者の思いを引き出している。メモを使い、即座に全職員が気づきを共有し思いの把握に繋げている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に本人、家族に伺い把握し記録に残し、その後も日々の会話から、新たに得た情報等、継続的に把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人との会話や日々の生活に関わることで、現状の把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>三ヶ月に一度、モニタリングをそれぞれの担当で行い、職員間で会議を開き、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>書類の書式の改善を重ね全職員が的確に記入し内容が理解できておりプランの実践、モニタリングに繋げている。プラン作成前に家族の意見を求め反映させている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や気付きは個人記録に記入している。項目の欄や実行表を活用することで、分りやすく介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況を把握し、相談しながら、その時にあった支援を行っている。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の活動への参加を通して、楽しみや生きがいを持って暮らしていけるよう支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の要望を聞き、入居前のかかりつけの医師に継続的に受診できるよう支援している。</p>	<p>入居以前から医師である法人理事長をかかりつけ医とする利用者が多く、二週間に一回受診している。歯科等の他科受診は家族や職員が支援している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同事業所の「イ・ピ・ス」看護師や、連携医院の看護師に相談し、対応や支援を受けることができています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は本人が不安のないよう面会し、家族とも連絡を取り合い、病院の相談員を含め退院の計画をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現時点での思いや、その時の対応を家族、本人との話し合いを密に行い、ケアの方針をチームで取り組んでいる。研修にも参加して、知識を高めている。</p>	<p>複数の親族から同意をいただき方針の共有を図っている。母体医院のバックアップを受けることができ、またホームでできる支援については理事長が研修を行っている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修や勉強会、消防署による講習会等、職員全員が緊急時に対応できるように、訓練、技術を習得する機会を設けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に昼夜の避難訓練を行い、地域の消防団も参加協力してもらって、協力体制を整えている。</p>	<p>ホームでは昼・夜・地震などの想定で年三回、入居者参加の避難訓練、また消防署、消防団、町役場参加で梯子車や担架を使った訓練も行われている。</p>	<p>備蓄は行われているが、記録簿等での管理が行われておらず、備蓄品の再確認と共に有効活用のために正確に把握することが望まれる。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の生活歴を把握し、人格を尊重した言葉かけや、対応をしている。スタッフ間でも注意しながら、支援のあり方を検討している。	言葉かけは内容と共に、声のトーンやタイミングも意識している。職員は利用者のこだわりを尊重した支援を行い、気づきがあればすぐに共有し配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを十分にくみ取る事ができるよう、話せる時間や環境に配慮して対応している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでのおおまかな流れはあるものの、本人の希望や、それぞれのペースにあわせる支援をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	以前の生活スタイルを崩さないよう、本人、家族に聞きながら、その人らしい身だしなみを支援できている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、片づけ等役割をもって暮らしてもらい、個々の好みを取り入れやすいように支援している。	利用者の希望で献立を変えたり、食べやすく工夫して楽しく食事がとれるよう配慮している。献立は年四回、法人の栄養士がチェックしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状況を確認し、食事内容や、食器の工夫を行いながら、その方にあつた摂取方法で提供している。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、それぞれの能力に応じた支援を行い、口腔内を清潔に保てるようにしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりにあわせて、時間を見ながら排泄誘導を行い、汚染や失敗の軽減に努めている。</p>	<p>利用者に合わせたタイミングと言葉かけで自然にトイレが使用できるよう支援し、無理のない自立支援で気持ち良く暮らしていただけるよう配慮している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>下剤に頼らず、飲食物や運動をその方に合わせて、対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の希望に添えるように、時間や順番の配慮をして、入浴を楽しめるような季節感等も工夫している。</p>	<p>風呂を毎日沸かし少なくとも週三回は入浴されるよう支援している。また希望により毎晩足浴を行っている利用者もいる。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中離床時間を増やし、一人一人の時間や、寝具、温度調節を把握して、心地良い眠りにつけるように支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容を個別にわかりやすいように記入し、変更時も確認しあい、マニュアルにそった支援をしている。又、勉強会を理事長にしてもらい、薬の内容、副作用等の理解を深め、本人の状態把握に努めている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の個別性を重視に出来る事を役割として支援している。又、外出等を取り入れ、気分転換や楽しみが持てるようにしている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>計画的な外出、地域行事への参加、又、本人の希望を聞きながら、行きたい所へ支援できるようにしている。</p>	<p>散歩やデイサービスの利用で日常的になじみの場に出かけるほか、花見等、季節に合わせたドライブや、外食など生活を楽しむ支援を行っている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出する時は必ず財布を持って行き、本人が買い物をする楽しみを持ち、自らお金を使う支援をしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望や、こちらからの声かけで電話を利用する機会を設けている。手紙等も能力にあわせた支援をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安全面や生活しやすい空間作りに心がけ、季節を身近に感じてもらう環境を常に行っている。</p>	<p>布で作られた小物や和風の布、また花を多く飾ることで温かみのある共用空間としている。湿度や温度に気を配り快適で健康的な生活が営めるよう支援している。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間においても、その時その場に応じた居場所をさりげなく提供できるようにしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなじみの物置いたり、本人の使いやすい配置や、工夫をして、安全に生活できるように配慮している。	利用者は明るい清潔感のある居室に写真や仏壇やハンガーラックなど思い思いの品を持ち込み自分らしい落ちつける居室とされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方のできる力で生活しやすく、目線をあわせ、迷うことがないように、目印等の工夫を行っている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本的な理念を踏まえた上で、親しみやすい言葉で表現した理念を各所に掲げ皆で共有し実践につなげている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に積極的に参加したり、保育園の慰問を受け入れや小学生との交流会を定期的に行っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小学生の高齢者福祉を学ぶ一環として、認知症の理解につなられるよう紙芝居を作り、披露できる機会を相談している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で頂いた意見やアドバイスはスタッフミーティングの中で検討し実践につなげている。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや介護保険係に常日頃からケアプランについてのアドバイスを受けたり勉強会を実施してもらっている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修に参加したり委員会を設け日頃より身体拘束をしないケアに努めている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティング時に虐待について検討したり、入居者の身体状況を観察し、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センターの方に尋ねたりして、学ぶ機会を設け、知識を深めるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は安心して入居して頂ける様、わかりやすく説明するように心がけている。又、介護報酬や料金等に変更があった場合も説明と同意をえている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族にアンケート調査を行ったり、意見箱を設置している。家族には面会時、入居者には日常意見や要望を伺うよう心がけている。それらの意見は運営推進会議で報告したり、ミーティング時にスタッフで検討し、要望がかなう様にしている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング時にスタッフの意見を聞く機会を設け、解決できない内容は、代表者や理事長に相談できている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>資格取得の実績でスタッフの前で表彰を受けたり、急な勤務変更等にも柔軟に対応できるようにしている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の案内を全員に回覧し、受講するよう働きかけたり、経験年数や実力にあった研修に参加できている。ホーム内でも勉強会を行い、技術や知識の向上に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>町内のグループホーム連絡協議会を設け、意見交換や相談、勉強会を行っている。又、他のホームの情報をスタッフへ伝えサービスの向上につなげている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>それをストレートに聞くのではなく、会話の中から導き出す努力をしている。本人の思いを受け入れ、気持ちに寄り添う言葉かけを行い、信頼関係の構築に努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時、その後も継続的に、家族の苦労や不安を共有し、思いに共感することで、信頼関係づくりにつなげている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の心身状況、要望や意向を把握し、適切なサービスの提供に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の要望、不安等の思いを聴ける時間をつくり、又人生の先輩としての立場の関係も築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や行事を通して家族との絆を築き、共に本人をサポートできるようにしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>行事、外出、デイサービス利用者等の関わりを通して馴染みの関係が途切れないうち支援に努めている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の相性を確認しながら、座席等に配慮し、関係が築けるようにスタッフが間に入り支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用が終了しても必要に応じて、相談や支援をこころよく受けている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いや意向はその時その都度、耳を傾け把握に努めている。困難な場合は、家族の協力を得て検討している。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に本人、家族に伺い把握し記録に残し、その後も日々の会話から、新たに得た情報等、継続的に把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人との会話や日々の生活に関わることで、現状の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>三ヶ月に一度、モニタリングをそれぞれの担当で行い、職員間で会議を開き、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や気付きは個人記録に記入している。項目の欄や実行表を活用することで、分りやすく介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況を把握し、相談しながら、その時にあった支援を行っている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の活動への参加を通して、楽しみや生きがいを持って暮らしていけるように支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の要望を聞き、入居前のかかりつけの医師に継続的に受診できるように支援している。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同事業所の「イギリス」看護師や、連携病院の看護師に相談し、対応や支援を受けることができている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は本人が不安のないよう面会し、家族とも連絡を取り合い、病院の相談員を含め退院の計画をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現時点での思いや、その時の対応を家族、本人との話し合いを密に行い、ケアの方針をチームで取り組んでいる。研修にも参加して、知識を高めている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修や勉強会、消防署による講習会等、職員全員が緊急時に対応できるように、訓練、技術を習得する機会を設けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に昼夜の避難訓練を行い、地域の消防団も参加協力してもらって、協力体制を整えている。</p>		

		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の生活歴を把握し、人格を尊重した言葉かけや、対応をしている。スタッフ間でも注意しながら、支援のあり方を検討している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを十分にくみ取る事ができるよう、話せる時間や環境に配慮して対応している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでのおおまかな流れはあるものの、本人の希望や、それぞれのペースにあわせる支援をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	以前の生活スタイルを崩さないよう、本人、家族に聞きながら、その人らしい身だしなみを支援できている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、片づけ等役割をもって暮らしてもらい、個々の好みを取り入れやすいように支援している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状況を確認し、食事内容や、食器の工夫を行いながら、その方にあつた摂取方法で提供している。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、それぞれの能力に応じた支援を行い、口腔内を清潔に保てるようにしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりにあわせて、時間を見ながら排泄誘導を行い、汚染や失敗の軽減に努めている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>下剤に頼らず、飲食物や運動をその方に合わせて、対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の希望に添えるように、時間や順番の配慮をして、入浴を楽しめるような季節感等も工夫している。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中離床時間を増やし、一人一人の時間や、寝具、温度調節を把握して、心地良い眠りにつけるように支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容を個別に分りやすいように記入し、変更時も確認しあい、マニュアルにそった支援をしている。又、勉強会を理事長にしてもらい、薬の内容、副作用等の理解を深め、本人の状態把握に努めている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の個別性を重視に出来る事を役割として支援している。又、外出等を取り入れ、気分転換や楽しみが持てるようにしている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>計画的な外出、地域行事への参加、又、本人の希望を聞きながら、行きたい所へ支援できるようにしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出する時は必ず財布を持って行き、本人が買い物をする楽しみを持ち、自らお金を使う支援をしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望や、こちらからの声かけで電話を利用する機会を設けている。手紙等も能力にあわせた支援をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安全面や生活しやすい空間作りに心がけ、季節を身近に感じてもらう環境を常に行っている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間においても、その時その場に応じた居場所をさりげなく提供できるようにしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなじみの物置いたり、本人の使いやすい配置や、工夫をして、安全に生活できるように配慮している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方のできる力で生活しやすく、目線をあわせ、迷うことがないように、目印等の工夫を行っている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない